

## 若穂町役場文書

### 【若穂町について】

若穂町は、昭和三十四年に上高井郡綿内村・同川田村・同保科村が合併してできた。町名は合併村の頭文字をとってつくられたものである。役場は綿内につくられた。昭和三十五年の人口は一万二千人程度。昭和四十一年に長野市の一部となり今日に至る。（『角川日本地名大辞典 長野県』 角川書店 一九〇〇年）

### 【伝来の経緯】

本文書群は、長野市立若穂公民館に保管されていたものを、長野市立博物館が譲渡を受けたものである。本来は、区有文書として区長引継ぎの折には、区長宅に伝えたものであろう。この文書群が公民館に移された経緯についてはよく分からない。なお、本文書群は、長野市公文書館へ移管の予定である。

### 【文書群の特徴】

本文書群は、明治時代以降の綿内村役場、保科村役場、川田村役場の文書と、長野市立若穂公民館の公文書が含まれている。

長野市の旧町村役場文書については、長野市誌編纂にさいして収集され、現在長野市公文書館の収蔵となっている。この文書群は、公民館に収蔵されていたため、公文書館所蔵の文書群とは別になっているが、本来は同じ性格のものであったことが想定される。